



【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： マツモト, D. 教材名： 『文化と心理学：比較文化心理学』（北大路書房，2001年） ISBN: 978-4-76-28220-9 2,500円+税
	文化と自己、感情という構成と、文化と言語、コミュニケーションという構成でもって、本書のテーマである心理とコミュニケーションについて論じています。 心理学の研究に、文化的要因を認める必要性が強調されているところから、異文化間コミュニケーションの領域でもよく読まれている図書です。
参考図書	・北山忍 『自己と感情』（共立出版，2003年） ISBN: 978-4-32-002859-3 2,600円+税 ・Matsumoto, D. <i>Culture and Psychology: People around the World</i> . Wadsworth, 2000. ISBN: 0-534-35436-X
履修上のポイント	本書は、50年にわたる研究・調査に関する図書の翻訳書なので、類書そのものがなく、本書を批判的に熟読することは、この領域を学ぶことでは、たいへん意味のあるものです。まず、要約課題に全力を尽くしてください。その後、自分の知識や経験をもとに、考察してください。
レポート課題 1	第1章～第4章を、4,000字で要約し、その中から1つの章（あるいは1つのテーマ）を選択し、知識や経験及び他の論文を参考にして、1,000字で考察してください。 <b>留意点：</b> 考察においては、要約課題で用いた専門用語を使うことが肝要です。
レポート課題 2	第5章～第7章を3,000字で要約し、その中から1つの章（あるいは1つのテーマ）を選択し、知識や経験及び他の論文を参考にして、1,000字で考察してください。 <b>留意点：</b> 考察においては、要約課題で用いた専門用語を使うことが肝要です。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 山口 勸 教材名： 『社会心理学』（東京大学出版会，2003年） ISBN: 978-4-13-012037-1 2,600円+税
	アジアの観点からの社会心理学の入門書です。「アメリカで提案された理論は、どの文化でも当てはまる」という前提で提示されている。本書は、「社会心理学で扱う社会的要因は文化と密接に関連している」という観点から、その前提を検証するユニークな1冊です。
参考図書	トリアンディス, H. C. 『個人主義と集団主義』（北大路書房，2002年）
履修上のポイント	トリアンディス、グディカンスト、山口と、個人主義の研究・調査を行ってきた人物です。本講座は、個人主義について学ぶ機会にしてください。 次に、「甘え」「面子」といったアジアの心理価値に関する研究を学んでください。
レポート課題 1	第1章～第3章を3,000字で要約し、その中から1つの章（あるいは1つのテーマ）を選び、知識や経験及び論文をもとに1,000字で考察してください。 <b>留意点：</b> 考察では、要約課題で用いた専門用語を使うことが肝要です。
レポート課題 2	第11章、第13章、第14章を3,000字で要約し、その中から1つの章（あるいは1つのテーマ）を選び、知識や経験及び論文をもとに1,000字で考察してください。 <b>留意点：</b> 考察では、要約課題で用いた専門用語を使うことが肝要です。